

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和6年度第1回相模原市障害者施策推進協議会		
事務局 (担当課)	健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課 電話 042-769-9222 (直通)		
開催日時	令和6年10月18日(金)		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	地域包括ケア推進部長、地域包括ケア推進課長、 福祉基盤課長、高齢・障害者福祉課長、高齢・障害者支援課長、 精神保健福祉課長、精神保健福祉センター所長、 緑高齢・障害者相談課長、陽光園所長 ほか8名	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1)第2期共にささえあい生きる社会 さがみはら障害者プランについて</p> <p>(2)共にささえあい生きる社会 さがみはら障害者プランの進行管理について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>		

## 審 議 経 過

## 1 開会

あいさつ

【事務局】地域包括ケア推進部長からあいさつを行った。

(村井会長) 村井会長からあいさつを行った。

## 2 議題

(1) 第2期共にささえあい生きる社会 さがみはら障害者プランについて

【事務局】第2期共にささえあい生きる社会 さがみはら障害者プランについて、概要版を使用し説明。

(村井会長) 事務局から説明があったが、第2期共にささえあい生きる社会 さがみはら障害者プランについて、意見や質問、補足などあるか。

特になし

【事務局】共にささえあい生きる社会 さがみはら障害者プランについて、資料1 資料2 資料3により障害者計画について説明。

(村井会長) 事務局から説明があったが、第4章以降について、意見や質問、補足などあるか。

(鈴木委員) まず、資料1の No. 5の市内の障害福祉サービスの人材不足について大幅に改善されているとの結果であるが、事業所の経営に携わる立場からすると、人材確保の状況は依然として厳しいと感じているため、市独自の施策の実施も検討していただきたい。また、既存の取組があれば教えていただきたい。

【事務局】改善はされたものの、依然として障害福祉人材は利用者の増加や障害等の状況に応じた質量ともに不足していると認識している。確保・定着・育成に関しては市社会福祉事業団のノウハウも伺いながら研修等を実施し、一定の質の向上が図られているが、より良い施策等について、引き続き社会福祉事業団にも意見を伺い

ながら進めていこうと考えている。

(今井委員)資料2について令和5年度決算額及び令和6年度の予算額と記載があるが、令和5年度の予算額及び令和5年度の決算額ではないか。また、施策4の表について二項目とも令和5年度決算額になっているが予算額で間違いはないか。

【事務局】資料の記載ミスである。令和5年度の予算額及び令和5年度の決算額で間違いはない。また、施策4についても令和5年度予算額と令和5年度決算額である。

(片岡委員)資料2の地域で安心して暮らすとあるが、精神障害者は夜間に不安になりやすい。昼間の相談支援はあるが、夜間の相談支援がない。地域活動支援センターI型で24時間体制の相談支援はできないのか。

【事務局】夜間、休日の相談支援は現状ない。相談窓口の拡充を行う中で検討していく。

(片岡委員)以前から当事者の中から声が出ているため夜間の相談支援を前向きに考えてほしい。

(五十嵐舞子委員)資料1のN0.8のマップについて小中学校で利用できる仕組みができるかと記載があるが、学校の先生にも伝わっているのか。どれくらいMAPを活用しているか見えないという声をよく聞くため活用されるようにしていただきたい。

【事務局】有効に活用されるよう教育員会へ働きかけていく。

(五十嵐舞子委員)資料1のN010について、8月、10月の販売会を実施しているが、単発のイベントでは工賃は上がらないと考える。イベントでの販売だけではなくオンライン販売等につなげてほしい。

【事務局】工賃向上に向けては、障害者施策の見直し及び転換の取り組みの一つとして、来年度以降、共同受注窓口の設置の検討を予定している。

(五十嵐舞子委員)資料3、4ページの人権福祉推進校・実践校とあるが具体的に有るのか

【事務局】担当の学校教育課へ確認する。

(片岡委員)夜間、精神疾患が急激に悪化した場合に、精神科病院を紹介してもらえらるソフト救急窓口があり相談するが、紹介される病院が自宅から遠方になる。当事者が遠方の病院に行かなくても良いようなものにならないか。精神障害者に対する救急医療体制をつくり人にやさしい体制を。

【事務局】精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により早急に精神科医療を必要とする方の相談先として、4縣市協調で精神科救急医療情報窓口を設置している。紹介する病院は、県内の精神科病院が輪番で当番となっているため、自宅から遠方の病院を紹介することがあり、自宅から近い病院を紹介することは難しい状況である。

(吉原委員)補助なしで車いすに乗っていた際に市民会館のスロープが急でのぼることが困難であった。

コロナ以降、パラスポーツに関するイベントの所管課が高齢・障害者福祉課とスポー

ツ課に分かれているが、なぜ一本化しないのか。以前のように一本化したほうが進めやすいという意見が出ている。

【事務局】健康福祉局では、障害の理解促進という視点で取り組んでおり、市民局では、障害者スポーツの普及、啓発という視点で取り組んでいるもの。ご意見として承る。

（堤委員）小学校に通う障害児は集中力がなかなか続かないため補助が必要になる。人材不足のため民生委員が20人交代で学校に同行しているが専門の方が補助に入ったほうが安心できる。

（村井会長）意見として頂戴する。

（小林委員）進行管理について、資料2が予算や決算額についてのまとめだと思うが、資料3について同じことを何度も書いているように見えるため、同じようでも工夫している部分もあると考えられる。工夫している部分を盛り込んでも良いと考える。

（村井会長）進行管理についての貴重な意見が出た。資料2について予算と決算額の対比が記載されているが、決算額が予算額と比べ大幅に下がっている場合、当初よりコストが削減されたものなのか未消化なのかというものを示す必要があるのではないか。資料1についても対策対応欄に結果、対策、改善策を示したほうが良い。PDCAを回せるように意識し、質の管理ができるようにしていきたい。

【事務局】共にささえあい生きる社会 さがみはら障害者プランについて、[資料5](#) [資料6](#)により障害者計画について説明。

（鈴木委員）計画相談支援についてセルフプランはどうなっているのか。計画相談支援の人数だが、これはセルフプランの利用者を含んだものか。また、セルフプランの利用について市はどのような印象を持っているか。計画相談が受けられずやむを得ずセルフプランで対応している方がかなりいるのではないかと感じている。

【事務局】数値にはセルフプランの利用者は含まれていない。また、全体の3割がセルフプランと認識している。今後、人材育成の部分でも検討していきたい。

（広瀬委員）資料3.5について各事業予算にバラつきがあるため、事業規模、金額規模で区別して記載し見やすくするよう資料の工夫をすべき。そもそも予算規模が50万以下の場合には予算が足りないため事業達成が難しいのではという意見も出る。

（村井会長）資料5の数字をみると元の数字の大小で達成率が大きく変わっている。達成率が140%、200%のものがあるが、100%を超えると、援助側のリソースが足りていたのか等中身について知りたい。その結果から見込みが甘かったのか、現場はどうだったのか説明できるような資料にしたほうが良い。

（安永委員）専門外の部分についてはよくわからないが、各分野の専門家が集まっているので率直な疑問や現場の課題を議論すれば良いと考える。もっと議論できるよう

な資料を作成してほしい。課題提起を市側がしても良いのではないか。

（村井会長）進行管理についてはこういった意見を踏まえて資料を作成し、焦点を絞っていく。

（広瀬委員）片岡委員へ緊急入院について、精神病院が少ないが、八王子市には多くある。八王子市と協力できれば良いが、困難なため相模原市、町田市、八王子市の医師会で連携を深めていく。

（安永委員）ロータリークラブ（ライオンズクラブ）にてボランティア活動しているが、折角の機会なので、声をかけていただければ、色々可能性が広がると考える。

（小林委員）単年度の累計と目標の区別をしっかりと確認してほしい。

（浅沼委員）ALS を受け入れてくれる事業所、施設が少ない。同種の病気の人でクラウドファンディングを行い、自名で事業所を立ち上げた。意見ではないが、このような機会のため情報共有ということで紹介させていただいた。

（飯窪委員）資料5にある定着支援のフォローをしっかりと行ってほしい。

（大滝委員）昨年より状況が悪化し重度訪問介護に変えようと考えている。セルフプランから計画面談に切り替えるのは非常困難である。事業者も少なく人材確保も含めて不安である。

（五十嵐吉朗委員）就労継続支援A型について賃金が上がると聞いたがどうか。

【事務局】就労継続支援A型については、最低賃金が保証されており、最低賃金の引き上げに伴っていずれ引き上げられるものと思われる。個別具体的な情報はない

### 3 その他

（五十嵐舞子委員）机上の「小・中学校における子どもの発達支援に関するアンケート結果まとめ」について、所属するNPO法人にて市内の小中学校等を対象に支援学級の満足度アンケートを行い、その結果をまとめたパンフレットを配布させていただいたので、お手すきの際に目を通していただくとありがたい。

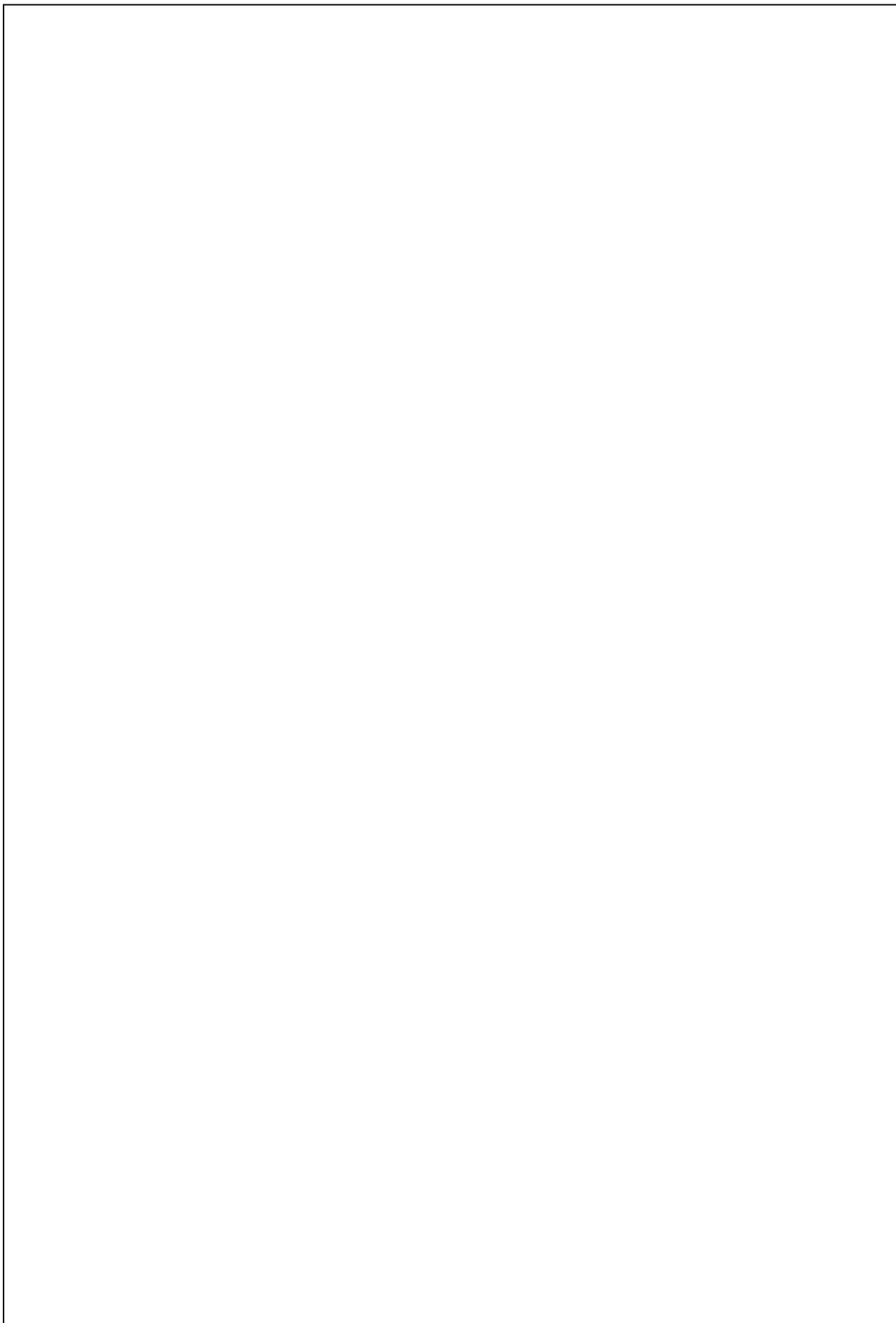
【事務局】次回の協議会は令和6年2月～3月頃の開催を予定しているため、現委員の任期内での開催は今回が最後となります。これまで本協議会に対しまして、様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。次期委員の選出については、各団体へ依頼する。

（村井会長）今年の12月31日で任期が終了する公募委員の五十嵐舞子委員、五十嵐委員より一言お願いします。

五十嵐舞子委員、大滝委員より一言

4 閉会

以 上



## 相模原市障害者施策推進協議会 委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	浅沼 一也	特定非営利活動法人神奈川県難病団体連絡協議会		出席
2	飯窪 美紀子	神奈川県立相模原支援学校		出席
3	五十嵐 舞子	公募委員		出席
4	石井 弘子	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
5	今井 康雅	相模原市障害福祉事業所協会	職務代理者	出席
6	大滝 英史	公募委員		出席
7	片岡 加代子	相模原市精神保健福祉家族会みどり会		出席
8	金澤 信義	公募委員		欠席
9	木村 古津恵	相模原市聴覚障害者協会		出席
10	小林 輝明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会		出席
11	穴戸 真記子	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
12	五十嵐 吉朗	相模原市精神障がい者仲間の会（あしたば会）		出席
13	鈴木 泰明	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
14	高橋 滋子	相模原市視覚障害者協会		出席
15	堤 道子	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
16	廣瀬 憲一	一般社団法人相模原市医師会		出席
17	村井 祐一	田園調布学園大学	会 長	出席
18	森谷 郁美	相模原公共職業安定所		出席
19	安永 佳代	神奈川県弁護士会		出席
20	吉原 君子	相模原市肢体障害者協会		出席